



(写真) Shutterstock “マイケティア国際空港の国際線運航状況について確認”

ベネズエラの国際線運航状況

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

新 型コロナウイルス (Covid-19) を理由にベネズエラは一時、全国際線を即時停止にし、感染防止策をとった。

ベネズエラの Covid-19 感染者数は減少傾向にあり、感染対策は緩和され、徐々に国際線が戻り始めている。また、ベネズエラ経済も比較的安定し始めており同国への出張が可能な状況になっている印象だ。

本稿では現在のベネズエラの国際線の運航状況を確認してみたい。

10カ国がベネズエラと国際線を運航

ベネズエラで初めて Covid-19 の感染確認が発表されたのは2020年3月13日 ([「ベネズエラ・トゥデイ No.419」](#))。

その翌日の3月14日にはドミニカ共和国およびパナマの国際線の運航停止を決定。

感染が確認される前日の3月12日にはコロンビアおよび欧州の国際線の運航も停止させており、国際的な移動ルートがいきなり絶たれることになった。

Covid-19 感染者数はこの2年間、増減を繰り返してきたが現在、ベネズエラの新規感染者数は全国でも2桁台を推移している。

マドゥロ政権が検査を十分に行っていないとの指摘はあるが、それを加味してもベネズエラの Covid-19 がかなりコントロールされているのは記事などからも読み取れる。

記事では Covid-19 が話題に上がることはめっきり減り、マスクを着用しているが、基本的に通常通りの生活スタイルに戻っている印象はある。

そのような状況で国際線も戻り始めている。

4月24日の週のマイケティア国際空港の予定表(出国便)は以下の通り。

国ではスペイン、パナマ、ドミニカ共和国、トルコ、キューバ、チリ、ペルー、エクアドル、ボリビア、メキシコの10カ国。また、今週は飛ばなかったが、モスクワも不定期で運航しているようだ。

この表を見ても分かる通り、駐在員の基本的な移動ルートはパナマ経由かスペイン経由になるだろう。

表：カラカス マイケティア国際空港の国際線出発時刻スケジュール

航空会社	都市名	国名	出発時刻	頻度	曜日
Plus Ultra	Madrid	スペイン	18:00	週1便	木・日
	Madrid	スペイン	15:50	週1便	土
Air Europa	Madrid	スペイン	21:40	週2便	水
Copa Airline	Panama City	パナマ	6:22	週7便	
	Panama City	パナマ	13:21	週7便	
Avior Airline	Santo Domingo	ドミニカ共和国	7:00	週7便	
	Panama City	パナマ	6:00	週1便	水
	Panama City	パナマ	3:30	週1便	日
Estelar	Panama City	パナマ	10:00	週4便	土・火・木・金
	Santo Domingo	ドミニカ共和国	12:10	週4便	月・火・木・土
Trukish Airline	Istanbul	トルコ	10:35	週4便	火・木・土・日
	Istanbul	トルコ	13:55	週2便	水・金
Conviasa	Santo Domingo	ドミニカ共和国	8:00	週2便	水・土
	Havana	キューバ	12:00	週2便	水・土
	Santiago	チリ	14:00	週1便	水
	Lima	ペルー	22:00	週3便	水
	Santo Domingo	ドミニカ共和国	11:40	週1便	木
	Guayaquil	エクアドル	22:30	週2便	木・金
	Quito	エクアドル	23:30	週2便	木・金
	Santa Cruz	ボリビア	8:00	週2便	月(同じ時間に2便)
	Cancun	メキシコ	9:00	週1便	月
	Mexico City	メキシコ	10:00	週1便	月

(出所) マイケティア国際空港(4月24日の週)

下表はマイケティア国際空港への国際便スケジュール(入国)

入国便がある国は基本的に出国便がある国と同じだが、「LAS SA」という航空会社がコロンビア(ボゴタ)ーカラカス間を運航している。

なお、「LAS SA」という航空会社は、到着予定はあるが、出国予定はなく、恐らくカラカス到着後にベネズエラの別の空港に移動し、そこからコロンビアに戻っていると思われる。

コロンビアは「Avianca」が頻繁に運航していたが、政治的な対立を理由に両国の国際線はほぼ動いていない。

なお、Copa Airline は1日3便を毎日運航しているようで、カラカスへの移動ルートを一手に引き受けている印象だ。

こちらにも到着便と出国便の本数が合わないが、「LAS SA」と同じく、一部の便はベネズエラの別の州に移動し、その後パナマに戻っているものと思われる。

表：カラカス マイケティア国際空港の国際線到着時刻スケジュール

航空会社	都市名	国名	到着時刻	頻度	曜日
Plus Ultra	Madrid	スペイン	14:30	週2便	日・木
Air Europa	Madrid	スペイン	19:10	週1便	水
Copa Airline	Panama City	パナマ	5:22	週7便	
	Panama City	パナマ	12:19	週7便	
	Panama City	パナマ	14:59	週7便	
Avior Airline	Santo Domingo	ドミニカ共和国	12:30	週7便	
Venezolana	Santo Domingo	ドミニカ共和国	9:18	週1便	日
Estelar	Panama City	パナマ	17:00	週3便	日・火・木・土
	Santo Domingo	ドミニカ共和国	16:10	週5便	日・月・火・水・土
Trukish Airline	Istanbul	トルコ	7:45	週4便	日・火・木・土
	Havana	キューバ	12:20	週2便	月・水
LAS SA	Bogota	コロンビア	16:20	週2便	日・火
Conviasa	Santo Domingo	ドミニカ共和国	15:50	週2便	水・土
	Santo Domingo	ドミニカ共和国	14:40	週1便	木
	Havana	キューバ	12:20	週2便	月・水
	Santiago	チリ	6:00	週1便	水
	Lima	ペルー	10:00	週1便	木
	Guayaquil	エクアドル	5:30	週2便	日・火
	Quito	エクアドル	5:30	週2便	日・火
	Santa Cruz	ボリビア	19:00	週2便	月(同じ時間に2便)
	Cancun	メキシコ	17:40	週1便	月
	Mexico City	メキシコ	23:00	週1便	月

(出所) マイケティア国際空港(4月24日の週)

欧州を中心に国際線再開の動き

22年4月21日 ポルトガルの航空会社「TAP」がベネズエラ(カラカス)ーリスボン間の国際線運航を再開すると発表した(「[ベネズエラ・トゥデイ No.744](#)」)。

暫くは週1便で運航するようだが、6月21日以降は週2便の定期運航になるという。

他、フランスの航空会社「Air France」もカラカスーパリの国際線再開に向けて協議を開始している。

「TAP」が運航再開を発表したのと同じ4月21日、「ベネズエラ民間航空監督局(INAC)」の Juan Teixeira 代表およびベネズエラ外務省職員は、在ベネズエラ・フランス大使館職員および「Air France」の代表とオンラインで協議し、両国の国際線再開について協議を行ったという。

「Air France」は、筆者が駐在していた当時から日本への移動ルートとしてよく使用する航空会社だった。

他の国も徐々にベネズエラと国交を回復しようとする動きもあり、徐々にではあるが、国際線は戻り始めるのではないだろうか。

以上